

すべてのビジネスに、
一歩先行くCXを。

MOBILUS

CX-Branding Tech. _____

2026年8月期 第2四半期 決算説明資料

モビルス株式会社(4370)

2026年4月10日

モビルス単体実績

2026年8月期第2四半期(2025年9月～2026年2月) モビルス単体業績

単体

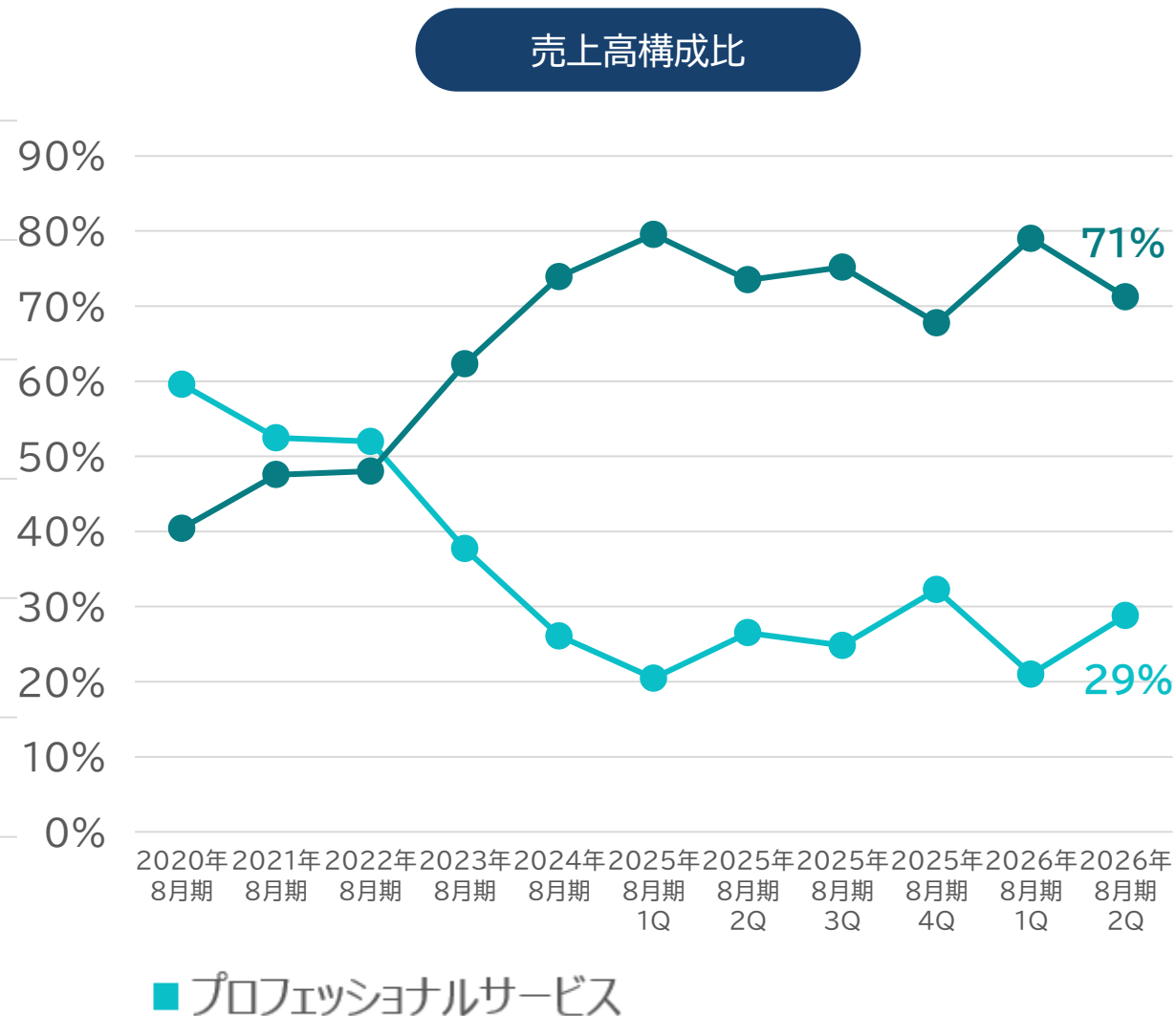
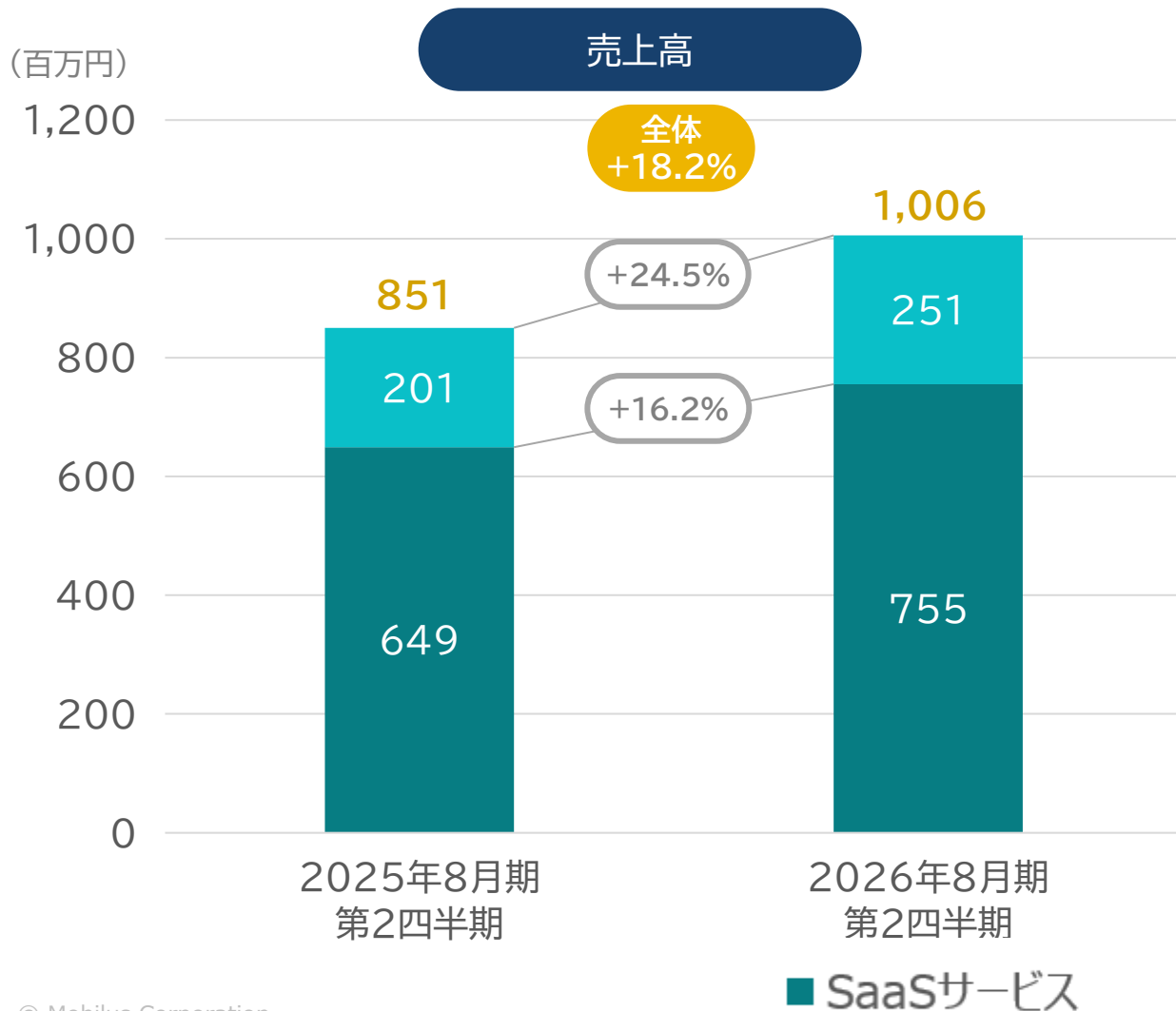
MOBILUS

単位:百万円

	2025年8月期 第2四半期 単体業績	2026年8月期 第2四半期 単体業績	前年同期比 成長率
売上高	851	1,006	+18.2%
－ SaaSサービス	649	755	+16.2%
－ プロフェッショナルサービス	201	251	+24.5%
EBITDA ^{注1}	92	141	+52.5%
営業利益	13	15	+12.0%
経常利益	8	7	▲16.4%
当期純利益	5	7	+22.4%

(注1) EBITDA(営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

SaaS製品導入は堅調に推移し、またMooAを始めとする生成AI関連商材のPoCなどを中心にプロフェッショナルサービスが大きく伸長し、全体で前年比+18.2%の売上成長。

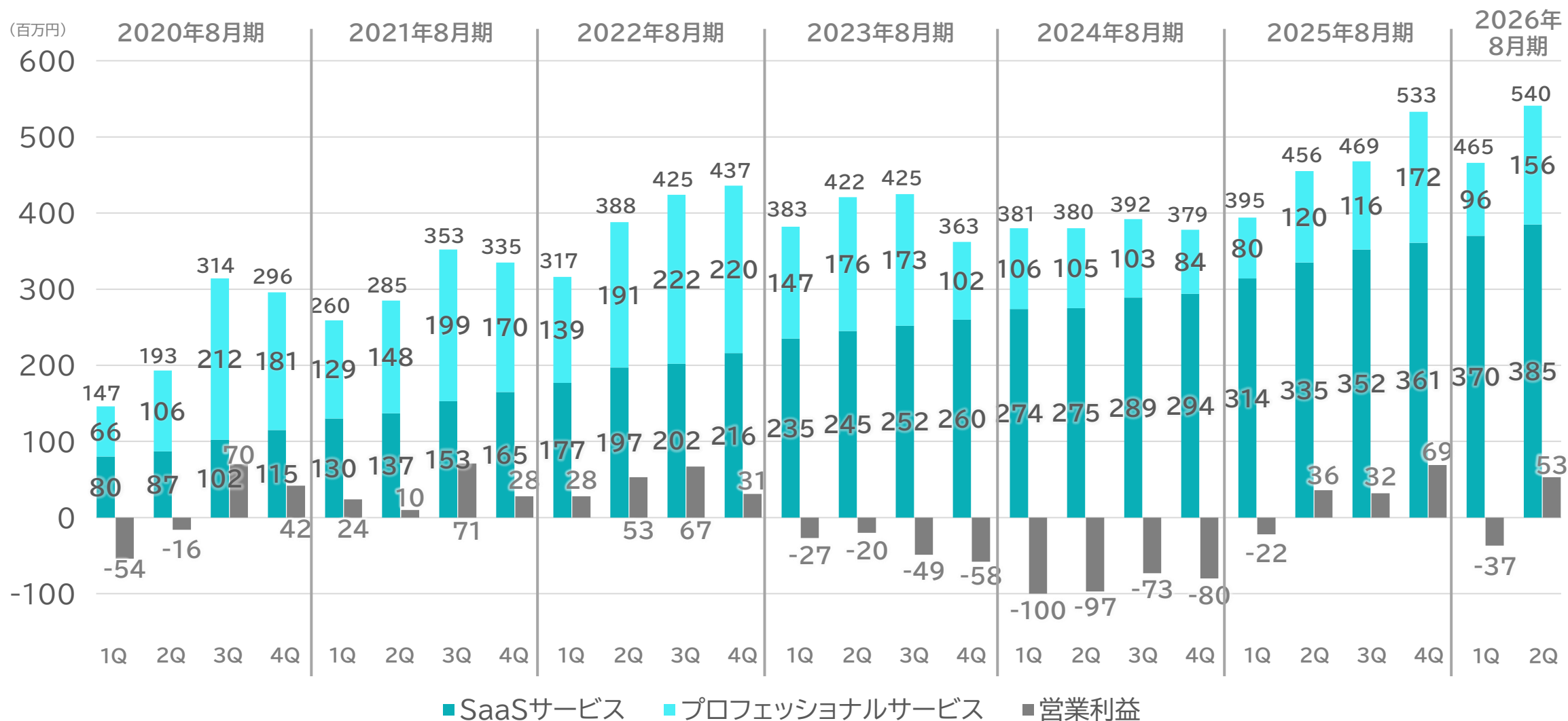


カテゴリ別売上高および営業利益の四半期推移

単体



第2四半期では四半期としては過去最大の売上を記録。利益面においても四半期黒字に回復。

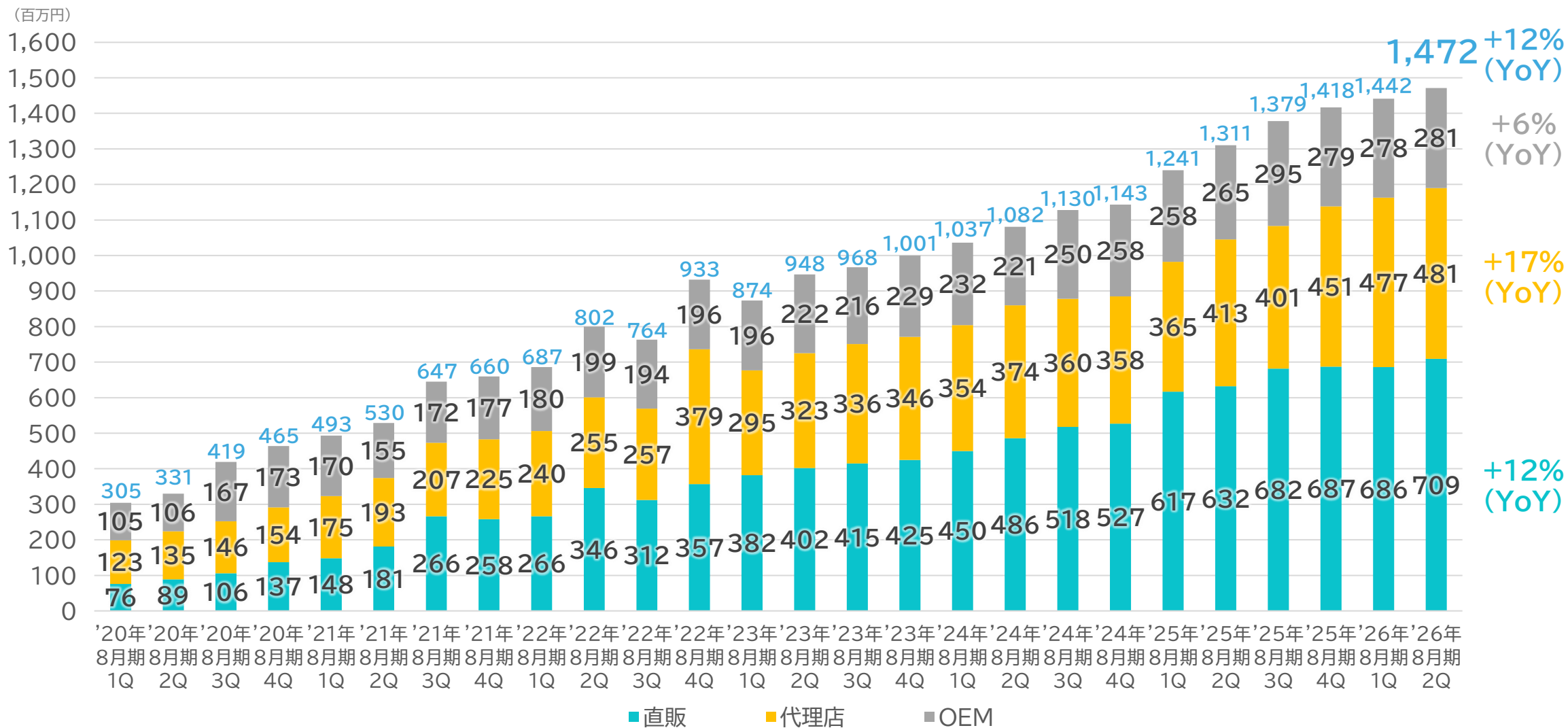


年間リカーリングレベニュー(ARR^(注1))の推移

単体



各商流で製品導入・製品利用が進み、前年比+12%の成長。



'20年'20年'20年'20年'21年'21年'21年'21年'22年'22年'22年'22年'23年'23年'23年'23年'24年'24年'24年'24年'25年'25年'25年'25年'26年'26年
8月期
1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q 3Q 4Q 1Q 2Q

(注1) ARR: Annual Recurring Revenueの略語。四半期末日の月次サブスクリプション売上高(注2)を12倍することにより算出。
(注2) 月次サブスクリプション売上高: SaaS製品利用に係るライセンス売上および従量課金売上の合計。

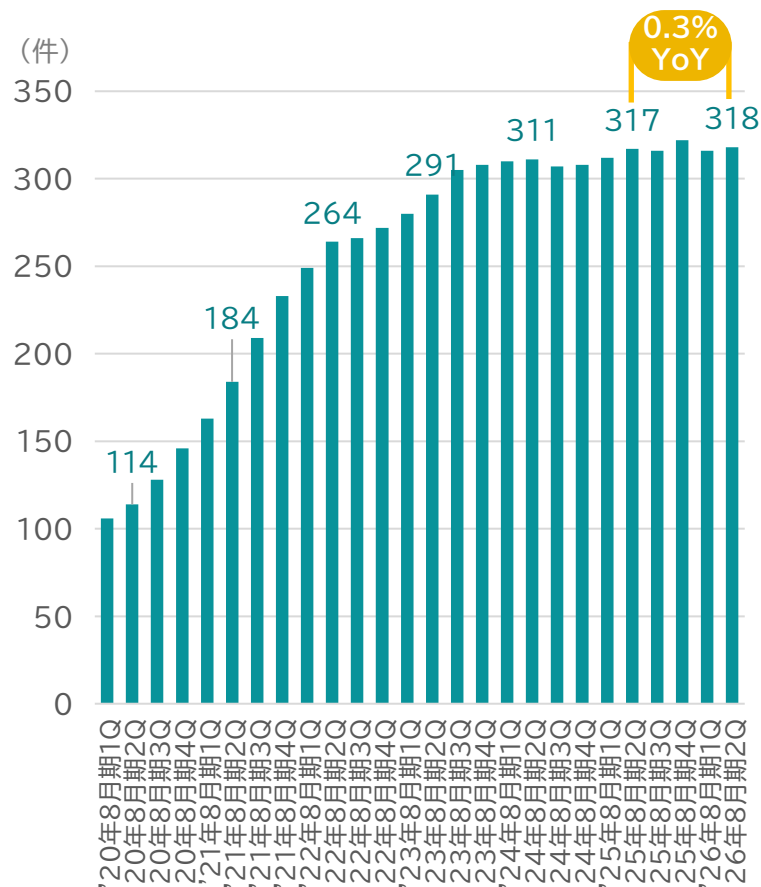
主要KPIの推移

単体

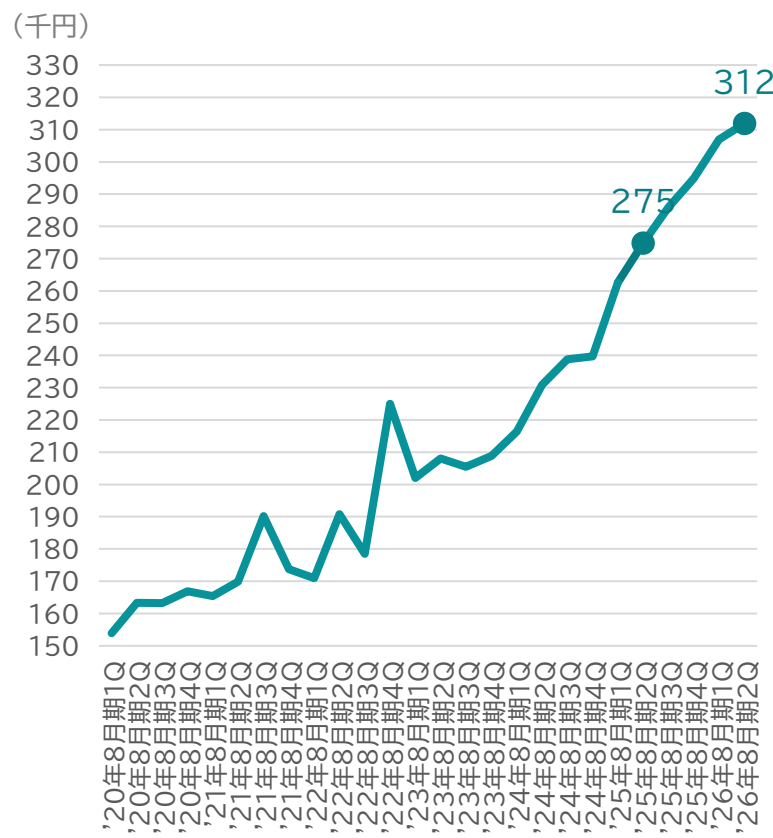


SecurePathを含めた大規模なチャット活用などの大型案件も寄与し、平均単価は引き続き上昇基調で推移。解約率は引き続き目標値とする1%を下回る推移を継続。

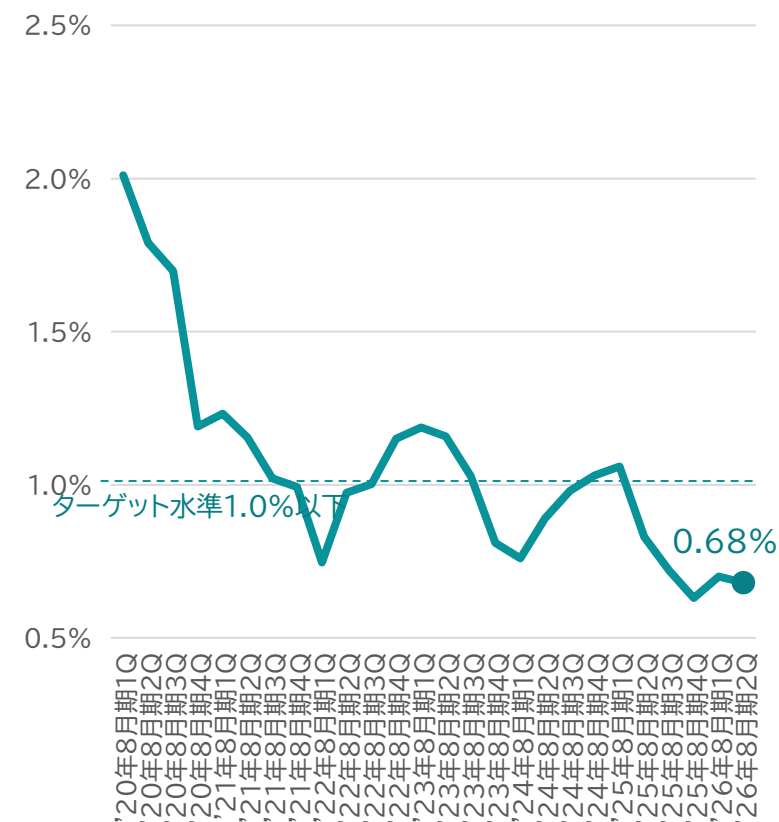
契約数(注1)



一契約あたりの月額平均単価(注1、2)



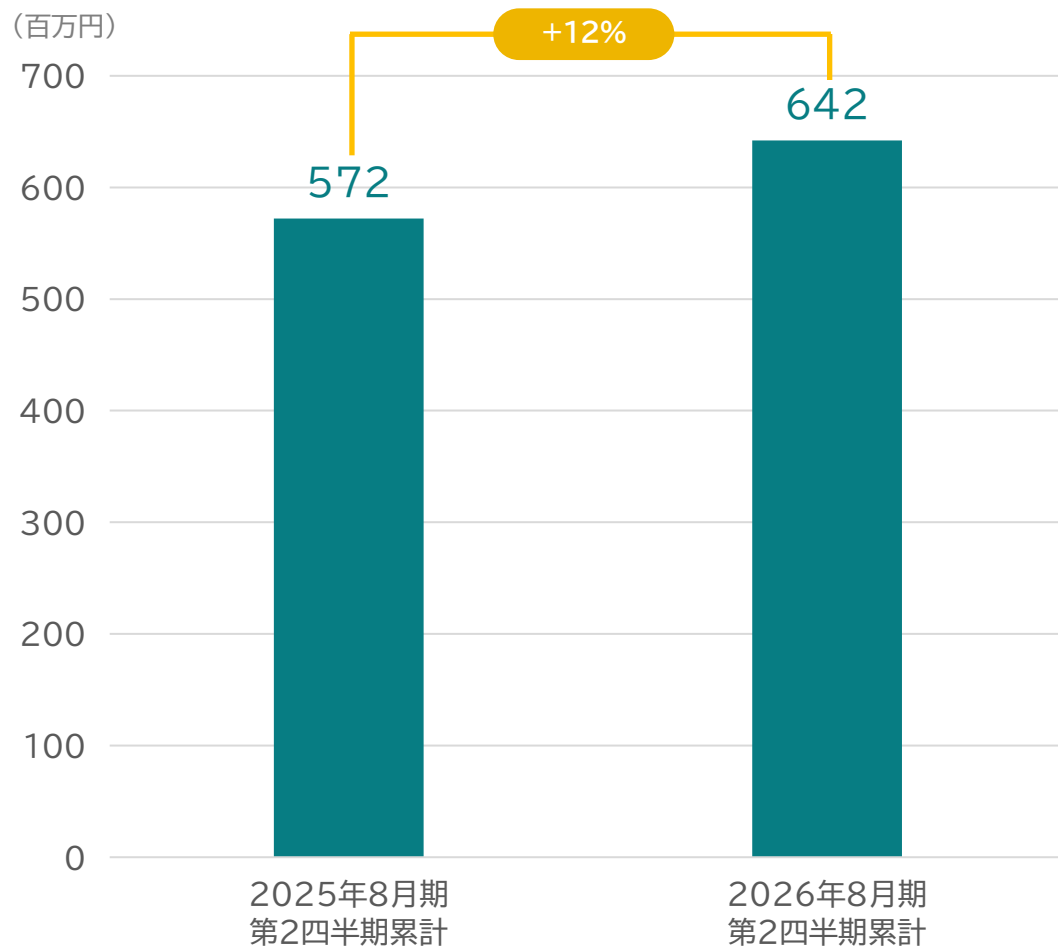
解約率(注1、3)



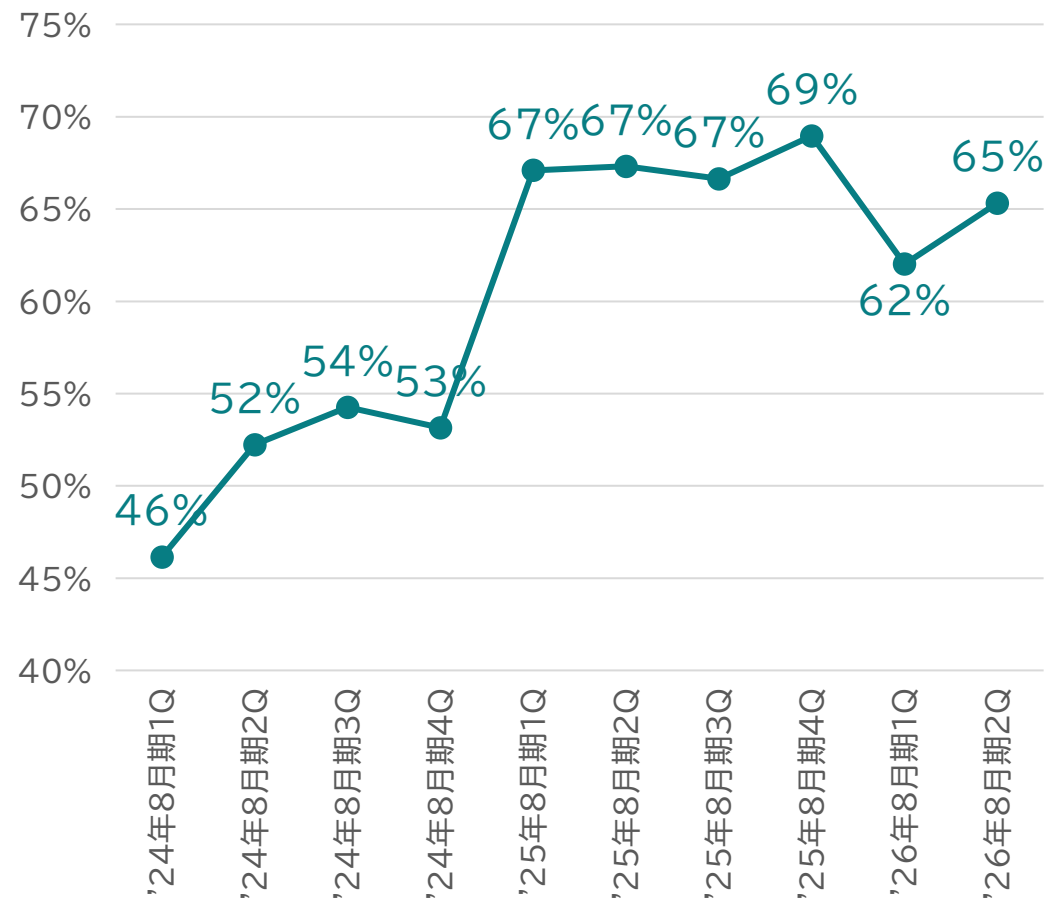
(注1)OEMを除く。(注2)四半期最終月の月次サブスクリプション売上高を契約数で除することにより算出。(注3)「当月の解約による減少したライセンス売上÷前月末のライセンス売上」の12ヵ月平均。

売上高の成長により売上総利益は前年比+12%の増加。ソフトウェア資産の償却費用増により売上総利益率は前年比では低下しているものの、プロフェッショナルサービスにおける個別案件の採算性向上により第1四半期対比では改善。

売上総利益

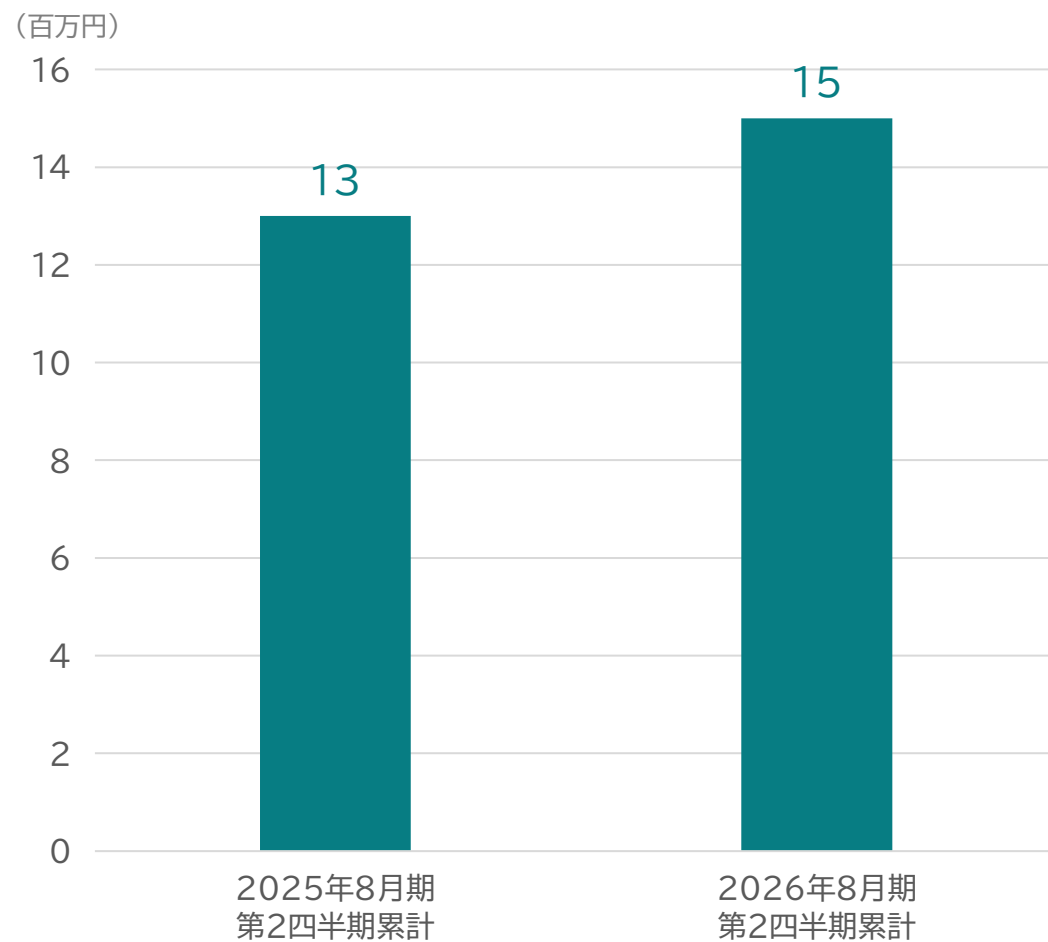


売上総利益率

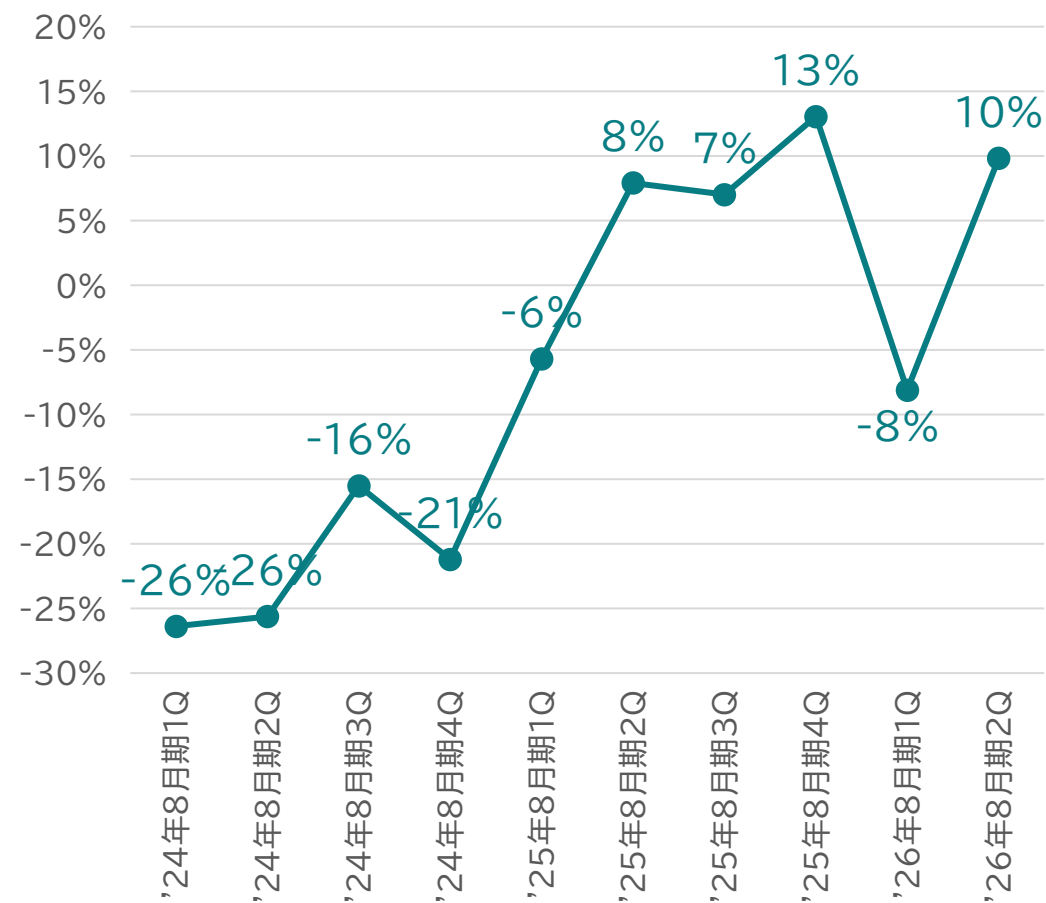


第2四半期累計で営業黒字化。第2四半期ではオフィス移転に伴う一過性の費用はなくなり、営業利益率は10%まで改善。

営業利益



営業利益率



■ 単体通期業績予想に対する進捗状況

単体

MOBILUS

通期計画に対して第2四半期も引き続き堅調に進捗。

単位:百万円

2026年8月期
単体通期業績予想

2026年8月期
第2四半期単体業績

第2四半期時点での
進捗率

売上高

2,250

1,006

44.7%

営業利益

40

15

38.2%

経常利益

30

7

24.4%

当期純利益

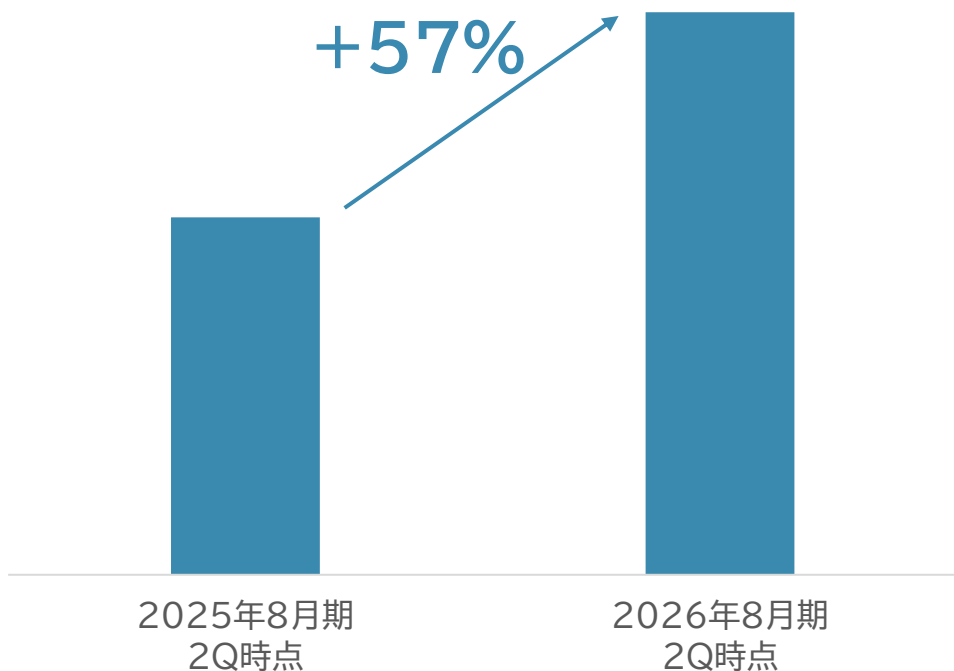
30

7

24.1%

有人チャットの活用は引き続き、堅調に拡大。特に個人情報の取扱いを含む大規模なオペレーションの中で、モビエージェントとSecure Pathを組み合わせる形で利用が増加。

Security SuiteのARR成長率



Security Suite

個人情報の入力を安全に守る

Secure Path

以下の情報を入力してください

お名前

PCI DSS準拠認定
※準拠範囲 Mobilus Security Suite(Secure Path)



入力された個人情報を消し忘れない

Secure Alert

こちら、お客様サポート担当のXXXです。何かお困りでしょうか。

住所変更をしたいです。

新住所は〒105-0023
東京都XXX区YYY1234
ABCビル 105です

なりすましを防ぐ多要素認証

Secure MFA

認証コード入力

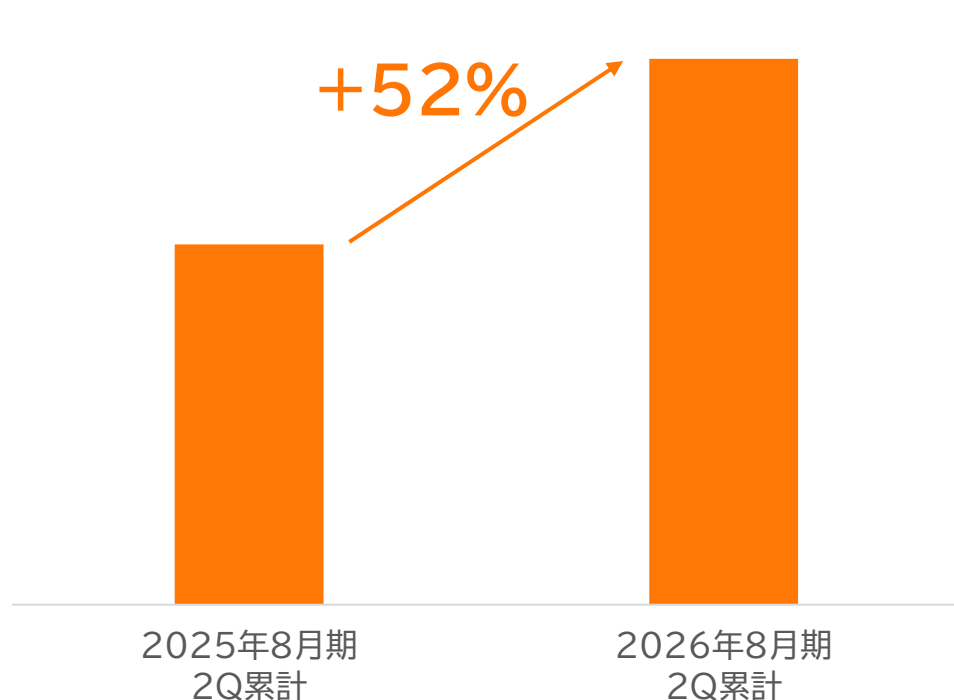
メールまたはSMS本文に記載されている認証コードを入力し送信してください。

認証コード入力

送信

製品利用に紐づいたカスタマイズ開発案件からの売上寄与が大きく増加。MooA本格利用開始前のPoCや大規模なチャットオペレーションに必要な周辺開発、ボイスボットのシステム連携などが売上貢献。

カスタマイズ売上成長率*1



カスタマイズ領域の例

— オペレーション支援AI

MooA

- ・業界・業務特性に合わせたプロンプトチューニング
- ・PBX等の音声システム、CRM等の業務システムとの連携開発

— 有人チャット

MOBI AGENT

— チャットボット

MOBI BOT

Secure Path

- ・CRMやLINE等外部システム連携による手続き自動化
- ・Secure Pathを活用した本人認証の自動化

— ボイスボット

MOBI VOICE

- ・PBX等外部システム連携
- ・外部生成AIとの連携、チューニング

*1:カスタマイズ売上はプロフェッショナルサービス売上の一部を構成しています。

AI技術の進展によりチャットボットを通じた自己解決率が大きく向上。定型的な問い合わせへのオペレーターの対応工数を抑制でき、より高度な顧客対応に注力できるようになることでコンタクトセンター全体の生産性と対応品質の向上に寄与。

FANCL

自然文入力の問い合わせに対してAIが意図を理解して、希望に近い回答候補を提示。スムーズな自己解決が促進され、チャットボット内での問い合わせ完了数が約2割向上。

実証実験における具体的な改善例

従来チャットボット

MOBI BOT AI Vector Search

自然文の入力に対応
 曖昧な単語やFAQに一致しない単語、長文での検索が可能に

AIが意図を理解
 FAQから最適な回答を検索し、正確かつ網羅的に回答を提示

利用者の自己解決を促進
 希望に近い回答を提示し、利用者の自己解決を支援

連結実績

連結・単体での比較

単位:百万円

	2026年8月期 第2四半期 単体業績	2026年8月期 第2四半期 連結業績
売上高	1,006	1,008
EBITDA ^{注1}	141	53
営業利益	15	▲73
経常利益	7	▲83
当期純利益	7	▲83
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	▲37

(注1) EBITDA(営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

連結での対前年比較

※連結子会社vottialは2025年4月に設立され、2025年8月期第3四半期より連結決算へ移行しているため、前年度実績では単体業績と比較。

単位:百万円

	2025年8月期 第2四半期 単体業績	2026年8月期 第2四半期 連結業績	前年同期比 成長率
売上高	851	1,008	+18.4%
EBITDA ^{注1}	92	53	▲42.9%
営業利益	13	▲73	-
経常利益	8	▲83	-
当期純利益	5	▲83	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5	▲37	-

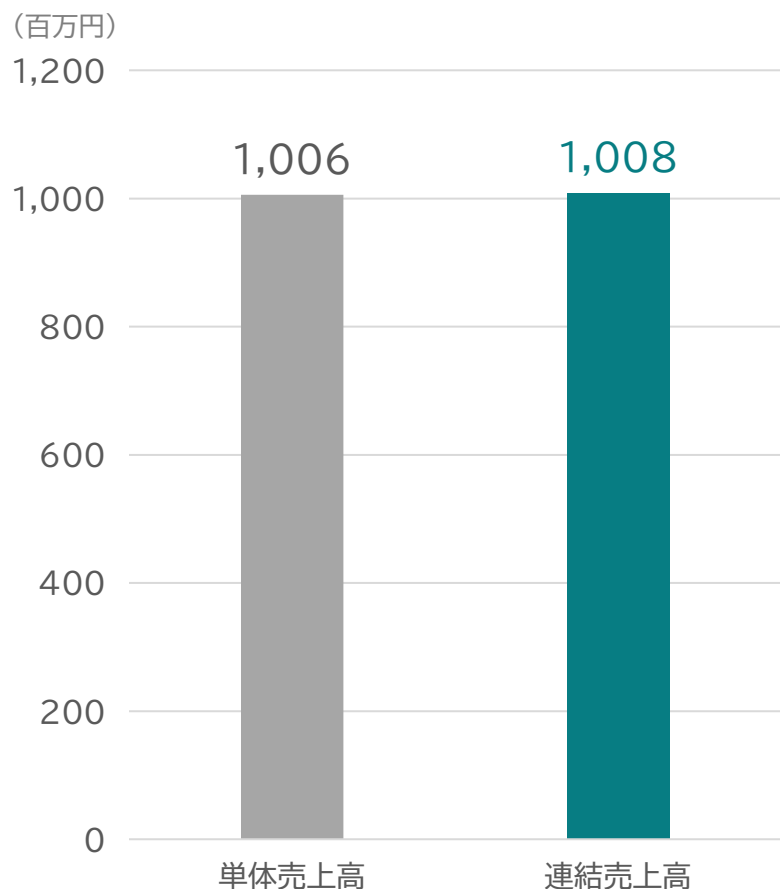
(注1) EBITDA(営業利益+ソフトウェア償却費+減価償却費+株式報酬費用)

業績指標の連単比較

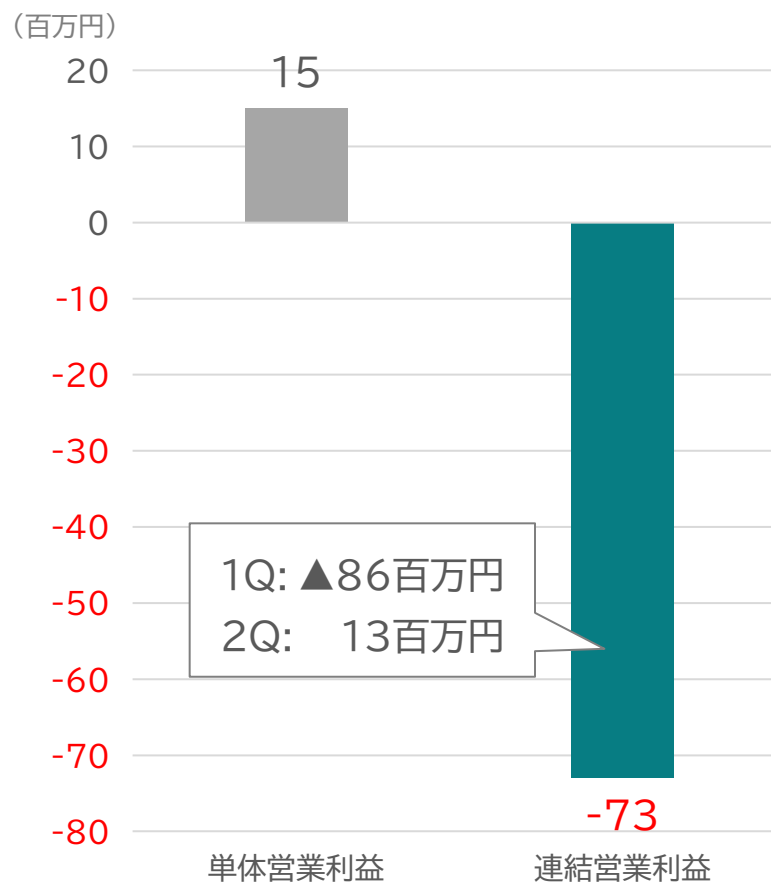
第2四半期のみでは単体の利益計上により、連結でも営業黒字化。

第2四半期累計では連結子会社vottiaでの先行投資により73百万円の営業赤字。

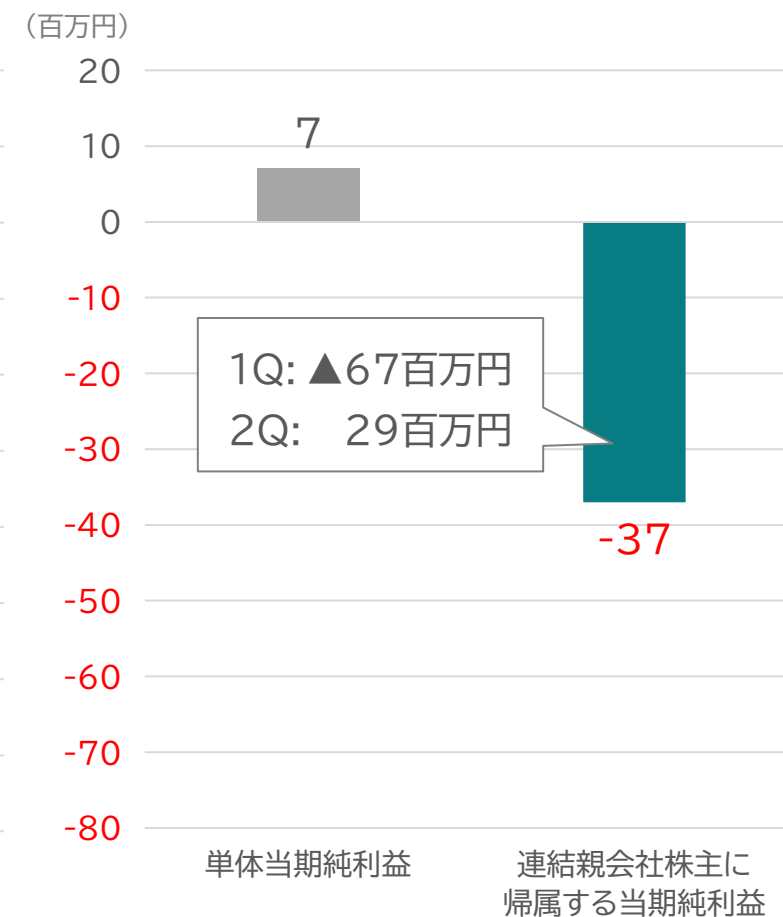
連結売上高



連結営業利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



AIエージェントに対する引き合いは非常に強く、顧客開拓は堅調に進捗。本格運用は来期からではあるものの、本格運用に向けた検証業務等を通じて下期からvottiaとしての売上計上開始を見込む。

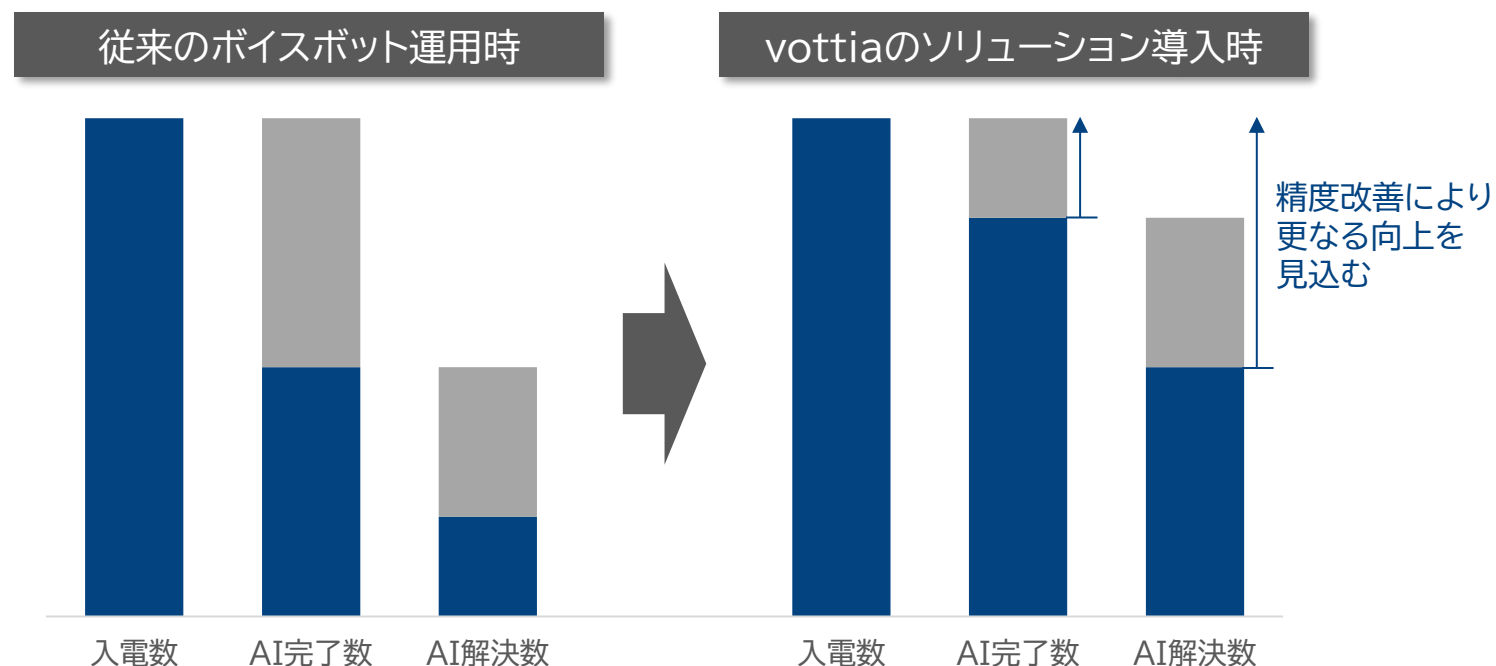
AIエージェント構築・管理プラットフォーム



数百席から千席以上の大規模センターを有する大手メーカー**複数社**で「修理受付業務」を中心にPoCを実施。

製品利用の初期段階から成果が見られており、本格運用に向けた機能開発・運用体制整備を推進中。

AIエージェント導入による効果の例



■ 連結通期業績予想に対する進捗状況

連結子会社vottiaでは下期からの売上計上を見込んでおり、単体と同様に連結においても第2四半期の時点で期初見込み通りに進捗。

単位:百万円

2026年8月期
連結通期業績予想

2026年8月期
第2四半期連結業績

第2四半期時点での
進捗率

売上高

2,298

1,008

43.9%

営業利益

▲110

▲73

-

経常利益

▲120

▲83

-

親会社株主に帰属する
当期純利益

▲45

▲37

-

■ 決算説明会のお知らせ

<2026年8月期第2四半期決算説明会 開催概要>

日時: 2026年4月13日(月) 16:00 - 17:00

形式: LIVE配信

スピーカー: 代表取締役社長 石井智宏

下記のリンクより決算説明会への参加お申込みいただけます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_47sUNNaFTvWrJf9VPR8DMg

決算説明会はお申込みいただければどなたでもご参加いただけます。

また後日、当日の動画アーカイブを当社ウェブサイトにて公開いたします。

当社の開示情報をメールでご案内

IRメール配信サービスを開始しました。

下記のQRコード・リンクから是非ご登録ください。



<https://mobilus.co.jp/ir/irmail/>



Appendix

連結損益計算書(四半期推移)

(百万円)

	2024年8月期				2025年8月期				2026年8月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	381	380	392	379	395	456	469	533	466	541
(SaaS)	274	275	289	294	314	335	352	361	370	386
(PS)	106	105	103	84	80	120	116	172	96	155
売上総利益	175	198	213	201	265	307	312	368	289	354
EBITDA	▲37	▲32	▲5	▲9	14	78	77	100	▲27	80
営業利益	▲100	▲97	▲73	▲80	▲22	36	30	46	▲86	13
経常利益	▲103	▲99	▲75	▲83	▲24	33	29	43	▲93	9
四半期純利益	▲102	▲98	▲74	▲456	▲21	27	34	35	▲92	8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-	-	-	-	▲21	27	36	48	▲67	29

SaaSサービスの売上高内訳

サブスクリプション売上	263	264	278	285	298	323	340	352	357	370
うちライセンス売上	244	246	254	263	275	300	312	326	331	341
その他売上	10	10	11	9	15	22	12	11	12	15

■ ソフトウェア投資額及びソフトウェア償却費の推移

(百万円)

	2024年8月期				2025年8月期				2026年8月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ソフトウェア投資額(注1)	63	75	84	89	119	105	106	111	141	138
ソフトウェア償却費(注2)	54	55	58	59	29	33	37	42	47	53

(注1)連結貸借対照表の無形固定資産(ソフトウェア)に計上されます。

(注2)連結損益計算書の売上原価に計上されます。

MOBILUS

CX-Branding Tech. —————